

まるまるひがしにほん
(東日本連携センター)について



まるまるひがしにほん(東日本連携センター)について

まるまるひがしにほんの新たな取組について

生産者と消費者がオンラインで直接つながる、新たな対面販売方式としての「ライブコマース」の導入

- まるまるひがしにほん1階の大型デジタルサイネージを活用
- 生産者とオンラインでつなぎ、対面販売を実施
- 対面販売の魅力により、用意した冷蔵ショーケースの物産が完売した例も！



- ➔
- リアルでの対面販売にも劣らない「ライブ感」により、販売実績に確実な成果
 - 「ライブコマース」のような東日本とさいたまをオンラインでつなぐ取組は、シティープロモーションイベントなどでも応用が可能であり、今後「関係人口の拡大」に向けた新たな取組として期待

まるまるひがしにほん(東日本連携センター)について

まるまるひがしにほんの新たな取組について

東日本の特産品をメニューとして取り扱い、東日本の特産品の消費拡大に努める「まるまるひがしにほんの店」の拡大
シティプロモーションイベントとのタイアップ企画による更なる販路拡大の推進

- まるまるひがしにほんの店・・・90店舗
(令和3年10月22日現在)
- 「会津地のもん」イベントに合わせて、特産品を紹介するとともに、タイアップ企画「まんてん会津フェア」を7店舗で実施
- さらに、「秋のまんてん会津フェア」を10/30(土)より参加店舗を17店舗に拡大し開催

タイアップメニュー



弁慶:会津地鶏の焼き鳥



ビーノテリア:会津の地鶏たまごのドフィネ風グラタン

- ➡
- 東日本の特産品を取り扱うことで、東日本地域は販路拡大、さいたまは店舗の売上拡大が期待でき、さいたま市と東日本の地域経済活性化に貢献
 - 飲食店を通じた「東日本地域のファン獲得」のチャンス！